

電子マネーってどんなもの？

電子マネーとは「物やサービスへの支払いを、お金の価値を持った電子的なデータ(バリュー)でやり取りする新しいタイプのお金」です。具体的には、コンビニエンス・ストアなどであらかじめお金を払って、自分が持っているICカードに金銭的な価値をチャージして、買物などのときにそのICカードをカードリーダーなどに読み取らせることで、お金の代わりに決済ができるものです。電子マネーは、しくみの違いによって、次の3種類に大別されます。

プリペイド(前払い)式非接触型ICカード型

あらかじめICカードなどに金銭価値をチャージして、その範囲内で支払いをするものです。

例 交通系/[Suica] [ICOCA] など
流通系/[Edy] [nanaco] [WAON] など



ICカードにチャージして…



カードリーダーにタッチして
商品の代金を支払います

プリペイド(前払い)式サーバ(ポイント)型

発行者にお金を支払うことで、電子マネー(多くは数字やひらがななど16桁で表されるデータ)を受け取り、電子マネー加盟業者への支払いに使用するものです。おもにインターネット上の取引で利用されます。

例 [BitCash] [WebMoney] [C-CHECK]
[セキュリティマネー] [GIGAPOINT] など



コンビニエンス・ストアなどで
代金を支払い、「プリペイド番号」が
記載された用紙を受け取り…



インターネット上の取引で
「プリペイド番号」を入力して
決済をします

ポストペイ(後払い)式

クレジットカード会社などが発行し、クレジットカードと似た使い方をします。使った分だけを支払日に決済用の口座から引き落とされます。万一、紛失したら、悪用されないようすぐにクレジット会社に連絡しましょう。

例 [QUICPay] [VISATOUCH] [iD(DoCoMo)]



クレジットカードで支払いをして…



ICカードで支払いをして…



利用額が決済用の口座から
引き落とされます

携帯電話に電子マネーの機能を持たせた「おサイフケータイ」など、さまざまな電子マネーが登場してきています。自分の使っている電子マネーがどんなしくみになっているか、また、利用者を保護するためにどのようなしくみがあるのか、ホームページなどを活用して調べた上で利用しましょう。